

## わけのわからない話

「言葉や表現の意味するところも現実はどうなっているのかも理解できず、同じような表現をしているのが、現在の新聞やテレビのワイドショーをはじめとするニュースである。記者の分析能力の低さや、日本語に対する無知。彼らに特有の表現法である。」・・・ボクは、「バカ」と呼んでいる。ここでは、記者のバカさ加減について書いている。

お笑い芸人が、非社会的な集団の余興に出席していた。5年も前の話である。これを、どの記事も「闇営業」と書く。江戸時代の盗賊でもあるまいに、もっと他の表現があるのではないかと。たとえば、「(会社に)無断(で)営業(していた)」とか。会社に無断で営業をするのは、たしかにルール違反かもしれないが、このニュースに関して言えば、吉本興業というのは、芸人の生活もままならぬほどの掠りを取っているともいえるし(一説に9割という、事実かどうかは別だが)、逆にそれが、いざというときの芸人を守る収入になるかもしれないのだろうか。

一長一短ではあるが、「闇営業」という表現からは、そういう恩情のようなニュアンスが感じられない。この世界では、こういう表現を使うというなら仕方がないが、どうも違うらしい。「直の営業」というという。友人の結婚式に出席したら、それを「闇営業」というのか? 「営業」で友人の結婚式に出席するか?

ところで、非社会的な集団というが、いちいち相手の素性をしらべてから出席するかどうか、きめるのであろうか? また、見ただけでわかるものだろうか? そんなことは関係なく参加するのが芸人というものだ。「芸人には、人格がない」みたいだな。この直の営業がなければ、生活がなりたたない芸人が無数にいるらしく、会社側も、ある程度は黙認していたらしい。会社も、興行のために極道の世界と交際が絶対になかったとは、言いきれないのではないかと。

仮に、非社会的な連中とわかったからといって、その場から帰る勇気のある吉本興業の社員がいるのだろうか。

このあと、社長が出てきて話を混乱させる。これは、バカな記者の餌食になっただけのようだ。すると、写真雑誌が反論の写真をだすが、ス

ナップ写真かどうかわからない。自社の芸人を信頼しているという口の下から、信頼度がうすれてきた、と慌てふためく。……そこまで信用できないなら、芸人の方も同じことを考える……そもそも、そんな他人の非を責める……場合によれば社会的に抹殺するようなことができる。そんな雑誌が、大手を振って、事実かどうかわからないことで儲ける。日本人の人格まで貶めるようなことをするべきではないし、ほかにしなければならぬようなことがいくらでもあるのではないか。こんなのが売れるということに、日本人として恥ずかしくないのか？

こんな体たらくの会社が、大阪万博に1枚加わって、なんらかのアイデアをだすという。これには、当初から反対の声が強く、これ幸いと契約を打ち切ったらどうだろう？

それはともかく、お笑い芸人なら、笑いをとれ！ 笑わせてなんぼの世界ではないか。

話は変わるが、「中学生を殴る！」と大見出しをうつ。少年サッカーの指導者が、中学生を殴った、とはしゃぐけれども、キチガイじゃあるまいし、いきなり中学生を殴るはずがない。現場にいなかったから詳細はわかり難いが、おそらく中学生が少年たちのサッカーを誹謗中傷したり、からかったり、指導者も制止したはずである。それでもしつこく、くりかえし、制止を聞かず、あまりのことに「殴った」というのが考えられる。……そう、殴らなければわからないのである。……そもそも、「体罰禁止」ということで、中学生は、自分が殴られるなどとは考えていなかったのだろう。すべて、学校側の及び腰と教育委員会の、理由や経緯や原因も聞かずに「体罰は禁止しているだろう！」という「やる気の無さ、とか役人根性、自らの保身」からきている。……クズは、どこまでいってもクズである。芸術品と呼ばれる馬でさえ、追い込みのときには、鞭をいれる。馬以下の人間に、なにをもって制止することができるのか。

数年前、深夜に猟銃か何かを撃ったのがいて、中学生が死んだことがある。このときも「中学生を殺した」と騒いだ。……バカとしか言いようがない。中学生が、深夜、チンピラどもとつるんで遊びまわっている。

そこに同じようなチンピラがでくわして、危険を感じたから銃を撃った。どっちもどっちだが、たまたまそれが中学生だっただけのことで、狙い定めて中学生を撃ったわけではない。母親にもインタビューしていたが、相手にされない。母親は、当然ながら、息子の不良化を知っている。仕方がないと思っていただろう。もし、裁判がどうの、というなら、母親の躰けが厳しく弾劾されるだろう。……この記者は、本当に頭が悪い。

もっと話を変えると、サラ金から借金しておいて、家や学校にまで取り立てに来る、と訴える。これを、「社会悪」と信じ込んだ記者が、サラ金業者を責めに行く。……ちょっと待て！金を借りて、期日までに返却しないことのほうが問題だろう。それがわかっておらず、正義の味方面してテレビで放映する。これもバカ。

話はどんどん変わる。

ある女の子が、「自分は美人だ」と言った。傍らにいた人が、「聞き間違えたのではないか」と思って、もう一度尋ねる。「本当に自分は美人と思っているのか？」……彼女は自信満々、「ハイッ」

いくら「美人」の範疇が変化しても、最低限クリアーすべきレベルがあるのではないか。

その直後に、その言葉を直接聞いた人が当院に来てその話をするから、思わず「嘘っ」と叫んだ。彼女の審美眼は一体どうなっているのだろう。鏡を見ながら、欠点を見るのを避けて自己陶醉しているのではないか。単なる誤解に過ぎないのであるが、へちゃむくれとまでは言わないが、と言った。すると20代の女の子が「へちゃむくれ」は初めて聞いた。これにも驚いた。十人並はわかるか？

世間の目は他人には厳しいねんから、いろいろ難癖をつけるものである。自分を客観視して冷静に判断してほしい、というのが結論になるのやで、へちゃむくれもどきのお姉ちゃん。

それはともかく、結愛ちゃんの何種類かの今まで公開されてこなかった写真が画面にでるたびになんでこんなかわいい子を虐待するのか、切なくなる。この母親が懲役 8 年。然るに罪が重すぎるとして控訴する。こいつ何考えとんねん、いっつも反省してへんやないか。この亭主、血がつながっていない義理の、といえはつきりする。ところが、結愛ちゃんの体に 170 か所ともいう痣や傷をつくっていながら（治ったものを含めば 200 か所を超えるだろう）、家族を作りたかった、などわけのわからんごじゃ理屈をこねる。挙句、1 日 1 食でゴルゴ 13 なみの傷跡をつくりながら、空涙を流す。結愛ちゃんが疲れて寝ているところを蹴り起こして、机に向かわせる。これがなぜ「家族を作る」なのだ。しかも、驚くべきことに、検察の請求が 18 年なのに判決は 13 年。これではなんのための「裁判員裁判」なのだ。こいつら、他人事だから平気で 13 年などと納得してしまいよる。20 年の刑でも、場合によっては、死刑でもいいじゃないか。あの涙にだまされたてか？ それよりゴルゴ 13 に依頼して処置したほうがいいのではないか。

こういう理解を超えた話が出たころ、小学生のいじめが問題になっているこの時に、これを凌駕する話が神戸の東須磨小学校であきらかになる。神戸新聞のスクープで、卒業して間もない教師に、40 を超えた女を主犯に、30 代の教師がよってこって苛めたおす。いや、傷害事件といっても不思議はない。・・・それを「可愛がっていた」と言っても、だれも信用しない。この“可愛がり”は、相撲の言葉でいうところの、集団リンチに匹敵するものである。この 4 人が主犯だろうが、どうも黒幕は前々校長らしい。新人教師への恫喝。パワー・ハラメントやらセクシヤル・ハラメントやらをわかっていながら、見逃して・・・しかもこの脳天気な校長にパワー・ハラメントの話がでてきて、次々に悪事が露見する。こいつはこのため左遷された（？）らしいが、では、兵庫県教育委員会は何をしようとしていたのか？ 現校長は女で、教頭をしていたのだから、教員室でおこなわれていたことを知らないはずがない。

わずか 3 か月前に気づきました、と自己保身のために嘘をつく。まあ、3 か月でもいいけど、それがわかってから、なにか改善策を講じたのか？ 教育委員会や、場合によれば警察に相談したのか？・・・何も改善の努力をしてこなかった。そういう意味では、こいつも犯人たちの一員である。校長になりたいために犯人側に立っている。いくら空涙をながしてももう遅い。・・・つまり加害者は少なくとも 6 人、被害者も同数くらい。この学校では、いったい子供たちに何を教えていたのか？ 「教育」そのものが存在したのか！

保護者に説明会をしていても、信用している親はいない。・・・週刊誌ネタだから、どこまで事実かわからないが、前校長と 40 歳の女とが不倫とかいう。こうなると、社会人としても、最下級の人格で、というより、こいつらに人権があるのか？ 人間性を疑わしめるような存在である。それでも名前はオープンにされないし、顔写真もでてこない。(実は、週刊新潮に期待しているのだが。)警察沙汰になったらでてくるのだろうか。少なくとも、懲戒免職の対象に、何人になるか？ ボクは全員だと思っている。・・・理由ははっきりしている。教育そのものを冒瀆し、反省することもなく、兵庫県教育委員会の実態をあからさまにしまった、という事実だけで充分だろう。これに加えて傷害事件が成立する。・・・教育委員会は、自らの保身のために、問題を隠蔽しようとしていたのだから。あとの 4 人の「教諭」もどきは、存在する価値さえない。ところが有給休暇をとっていて、給料だけは、しっかりともらっている。そういう法律がないためらしいが、だれもそんなバカが教師をしているなどと思わないからなあ。

小学校で教鞭をとっていたというなら、逆に小学生のいじめ以下のことを学んだだけの話。子供でもこんなバカなことはしないだろう。いずれにせよ、加害者たちは、次々と悪事が露見してきて、つまりは懲戒免職を恐れ、保身しか考えていない。こういう手合いが、「相手を思いやろう」などと言っても信じるバカな子供たちはいないだろう。

前校長は、1 年前から仕事部屋、つまり校長室に籠っているから、よくわからない、と逃げる。知らなかったとしたら、この学校のガバナンスは、どうなっているのだろうか？ 自分の部下が相談しに行っても、知らぬふりをする。セク・ハラ被害にあったと訴えても、何もしなかった。

かえって恫喝まがいのことをしただけだ。こいつがなにもしない、できないことをいいことに、人類以下の存在たちが、好き勝手をしていたのではないか。前々校長が、週刊誌によれば不倫相手の女教師をよびよせたというなら、こいつも同罪どころか、諸悪の根源ではないか！

で、こんな連中が転勤してまた子供の教育に当たると考えれば、新しい学校の子供は、学校に通うことなどしないのではないか？ 転勤は、まあ世間が許さないだろう。名前がわかれば、抹殺できる。・・・ところで、子供たちへの精神安定のために、カレー事件のあった家庭科教室を改修するというから、アホッ！それをするなら学校をつぶせ。新たに小学校を作れ！

10月30日号の週刊新潮に実名が載っている。予想どおり、というより「期待通り」である。顔写真はなかったけれども、結構事細かに書いてあります。別に知り合いがいるわけではない。どうしても知りたいわけではない。しかし、当事者たちにとっては、重大な問題だろう。だから顔写真と実名報道を・・・と言ってきた。

被害者が担任であったクラスの保護者が、学校の聞き取り調査の動きが遅いことに苛立ちながら、「もう謝罪がどうのですむ問題は超えている。あとは行政罰か刑事罰か、の段階まできている」と喝破している。学校側は、なるべく調査を遅らせようとしているのがまるわかりや。被害者の無念を一顧だにしていらない。加害者4人は、有給休暇をとって優雅にお暮しのようだ。便利な言葉があって、「療養中」。なぜ療養しなければならないの？ 「加害者としての反省に基づき、苦悶しながら、どう謝罪するか」というのは、「謹慎中」という。そんな殊勝な神経の持ち主ばかりだと思いませんか？ 4人の腹の中は、「誰かひとり、反省を込めた謝罪文でも書いて、自殺してくれへんかなあ。」 そしたら、罪一等を減ぜられるのに。いっそのこと、すぐに罪状を決定して服役していると、「恩赦・大赦」にあずかれるのに・・・時期が悪すぎる、くらいの感覚と違うのかな。

ひとつ間違えば、被害教師の命にもかかわる大事である。この人が、おとなしくて「どうせ死ぬくらいなら、ひとりくらい道連れにしてやろうか」と思わなかったから、いま、加害者の4人は生きているのだとい

うことを忘れるな！・・・・それにしても相手が弱者だとわかると、ここまでサディスチックになれるものか。

「凄絶な虐待」については、兵庫県警も把握していて、実は、ここに書くのもおぞましいというのが筆者。だから書きたくない。

加害者の名前に移ろう。新車の上でドンドンしたのは、**蒔俊**。(念のためシトミ・シュンです) 高校生くらいからチンピラグループにくわわって、なぜなら、やっつけられないように。調子乗りの典型的なバカ。教師の前などでは、素をださず、同窓生は「陰湿なやっちゃん」。

カレーを食わせている写真の主が、**長谷川雅代**。校長などを別にすれば、こいつが主犯。・・・・すべての事柄は、この女が前々校長の**藤原高広**に呼ばれたことから発生している。次の**芝本力**校長にも気に入られ、集合写真では、かならず、校長の隣に座る。・・このあたりから愛人説が流れる。取り調べが進むにつれていろいろわかってくる。被害者が新任で担任になったのが、この女と同学年。初めは勝手にわからないから、いろいろ相談にのってもらう。だから、初めは「愛い奴じゃ」てなもんですが、恋人の話相談してから鬼の形相に変化し、いじめの対象になる。・・・・この女の考えは、よく理解できない。自分の担任のクラスの子に、悪口を言ってみたり、あの男の言うことは聞かなくてもいい、とか。・・・・子供まで巻き込むな！陰険なやっちゃん。

ましてや、卒業して10年以上経過した、いい年した男が、いわば働き盛りの連中が、庇うどころか、一緒になっていたぶる。**柴田祐介・佐志田英和**。妻子があるのに、被害者の恋人の下着を家まで入り込んで手に入れようとするなど、単なる変態じゃないか。

なにせ、次々と悪事が露見してきて、警官も混乱してるのと違うか？

仁王校長の涙は、悪事をかくしきれなかったからか、あるいは、バレたことを加害者らに責められたのではないか？ それほど無意味な涙である。・・・・大分県では、校長になりたくて100万円包むそうだが、仁王さんも校長の目がでてくると、目の前の悪事には目をつぶる。職員室の雰囲気知らない教頭がいるものか！

上に述べた30代のバカ2人。まあ、離婚必至だろうなあ。県警は、暴行、傷害、強要、器物損壊、家宅侵入罪など、これほど明らかな犯罪の根拠がでてきたら、どの罪から手を付けようか、戸惑っているのではな

いか。

前校長に対し、「職員室の悪ふざけが過ぎる」と、さすがにまともな人がいた。ところが、芝本力は、一蹴したという。そして教育委員会付き、つまり、校長としての能力がない、と判断されたのである。つまり、こいつも加害者側の代表。あの小学校には「良心がないのか」と思っていたら、実際にはいたのに、校長という権力で無視したのである。

T Vドラマでは、証拠のブツをさがすのに苦労しているが、この事件では、アホウどもが動画に残してくれているから、それこそ、新任の警官の練習台になるのではないか。

いずれにせよ、県警の捜査が始まると、加害者の4人か7人か、正月は臭い飯をくわねばならない。

なぜ実名を出せ！というのか？ 単なる粗暴犯ではない。

教師は法的にも優遇されていて、「教員免許は、一度失効しても、更新講習を受け書類申請をすれば、新たに交付される。大学で遊んでばかりでもくれる。たとえば、自治体の教育委員会によって懲戒免職になるとその資格は剥奪されるが、3年経つと再取得可能になる。禁固刑以上の場合、刑期プラス10年、罰金刑だと5年になります」とは、文部科学省人材政策課の答え。

しかも、ブラックリストに名前が記載されているのは3年間。なぜなら、更生させるため。(ここで吹出した)・・・更生するようなタマなら、はじめからそんなバカはすまい。・・・盗癖のある人間は、手や指がじっとしていられなくなるのと同じ理屈である。(教師には結構多いらしい。)

で、3年経って、リストから名前が消えると、厚かましくも、再度教師になろうとする。余程に楽して儲かる仕組みになっているらしい。乞食は1日やったらやめられない、というのが、同じ心情からかもしれない。

で、新潮には実例が載っていて、埼玉で悪事を働いたやつが、知立市(愛知県の村みたいな市)で教師になりかけて、再び悪事を犯し、バレたのがあるという。要するに、ロリコンの変態が、遠く離れた町で、同じ犯罪を繰り返し、また新たな被害者をだした、というだけの話である。新しい被害者は、怒りのやり場がない。



仁王校長が、「二度と東須磨の教壇に立たせない」というのは、「ほとぼりが冷めたところに、他の学校の教壇に立つ可能性を示唆するものだ」と解釈するべきであろう。他県に行けばいくらでもあるのだから。大阪でもあったというし、全国レベルで見れば、無数に近い例がある可能性が考えられる。

これをなくす方法は、日本中の自治体の教育委員会が、3年で切らずに、半永久的に、悪事を働いた輩のフルネーム、住所の遍歴、可能ならば顔写真つきで、数十年単位で記録することである。教師は、何も知識が万能でなければならぬことはないし、ほんまのアホは困るけど、少々成績は悪くてもいいから、誠実な人物を優先して採用するべきである。・・・教育委員会のなかの、1人が責任をもって新聞雑誌TV、あらゆる媒体に目を通し、名前が出た途端に、犯歴がわかるようにするべきで、そのための人員をひとり確保するべきである。でないと、子供や孫に害が及ぶ。

限られた人数から1名取られるのはつらいというかも知れないが、10人もいれば、1人や2人は、いてもいなくてもいいのがいるだろう。仕事をしていると言いながら、実は邪魔をしているのがいるだろう。いずれにせよ、教師には不適格で人間性のない悪漢をチェックするだけの存在が必要である。

それにしても、「いじめ」とはいえ、現役の教師がする「いじめ」というにしては、あまりにも「幼稚すぎる」。小学生並のいじめじゃないか。苛めた理由がまた、とんでもない表現で、「あまりにも可愛がりすぎて・・・」とあなたは、これを理解できますか？

しばらくすると、消防署でいじめが発覚して、これはすさまじい。なにせ、首を絞めて溢血斑ができていた、という。死亡の直前じゃないか。このほかにも多くのいじめがあるだろうが、なにせ幼稚すぎる。

全国の小学校や中学校の悪ガキや教師を集めて、大会をひらいたらどうだろう。いろんなアイデアがでるだろうな。

あと、無駄話程度の話題はいくらでもでてきますが、今回は、このあたりでおわります。新しい話がでてきたら、また別にまとめます。

2019.10.31..